

12月3日の「とめよう！原発依存社会への暴走」1万人集会 老朽原発の稼働停止！汚染水の海洋放出中止！そして原発の廃止を要求！

岸田政権は、法律を改悪し、40年以上の稼働を常態化し、60年を超える原発の運転を可能にした。そして原子力基本法も改悪し、原発の活用を「国の責務」と位置づけた。しかし岸田首相がどう願望しても老朽化を防いだり安全性が高まることはない。岸田首相の「原発依存社会」への暴走は、破滅的な原発事故を再現するものである。

12月3日の集会は「とめよう！原発依存社会への暴走」をかかげて、最大の原発企業＝関電の足元で開かれた。

12月3日 大阪うつぼ公園で1600人で集会

集会は大阪うつぼ公園で開かれた。各地からのマイクロバスも到着した。門前では各種のチラシの配付、そして署名活動が展開された。集会は13時定刻に開催され、主催者を代表して福井県民会議の中嶋哲演さんが挨拶を行なった。続いて大島堅一さんから「原子力回帰は



1600人でデモ

許されない」との報告が行なわれた。岸田政権が進める原発こそが最悪の環境破壊であり、経済的負担を国民に押し付けていることが話された。

続いて、青森、新潟、首都圏、福井、愛知、四国、上関、川内の現地報告。

集会に参加されている各政党が紹介された。引続いて原発事故被害者からの発言、関西各地の反原発市民団体、労働組合から発言が行なわれた。

集会の最後に「集会宣言」が読上げられ、参加者全体の拍手で確認された。

集会参加者が1600人であることが報告され、一層の闘いの拡大に向けての奮闘を誓い合った。

デモ行進は4グループに分けて出発し、御堂筋をナンバまでデモ行進した。年末の日曜日、多くの市民に「原発の稼働停止」「汚染水の海洋放出反対」を訴えた。

集会宣言 とめよう！原発依存社会への暴走

岸田政権は、本年5月末の通常国会で、5つの「原発推進関連法」を束ねて成立させた。原発の60年を超え運転を可能にし、原発の運転期間の判断を経産省に委ね、原子力基本法に「原発推進を国の責務とする」の一項を加えた。8月24日には、福島原発でたまり続ける放射能汚染水の太平洋への放出を開始した。漁民・住民との約束を踏みにじった暴挙である。まさに、岸田政権は「原発依存社会」に向かって暴走している。

5月に成立した「原発推進関連法」の多くは、未だに施行されていない。私たちの目に見え、耳に聞こえる行動によって、骨抜きとし、実行不能にすることも出来る。

本日、うつぼ公園に結集した私たちは、原発全廃の大きなうねりを出現させ、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会に向かって、力強く前進することを宣言する

2023年12月3日

「とめよう！原発依存社会への暴走 集会」参加者一同

原発推進派は原発を将来にわたって最大限(金儲けに)に活用するために 新增設に向け、電力独占体への(税金での)資金援助と利益の保証を要求

岸田首相は昨年末に突如、原発推進に転換し、原発比率を22%とする「エネルギーミックス」政策を掲げている。そして老朽原発の稼働期間の60年への延長、手当たり次第の再稼働を進めている。しかし、老朽原発を再稼働するには、数千億円の追加投資が必要であり、電力資本はその費用を「長期脱炭素電源オークション」制度によって、電気料金に上乗せして徴集しようとしている。それでも原発は不経済で再生エネと競争すると不利である。

原発の新規増設に優遇措置を要求

そこで原子力ムラが要求するのは、原発については、事業者に対して投資の回収を保証する仕組みである。そのために、原発が必ず認可されるように電源ごとに募集枠を設けること、投資額が規制強化などで増額となっても、その増加額も電気料金に上乗せできるという「おんぶに抱っこ」の制度である。

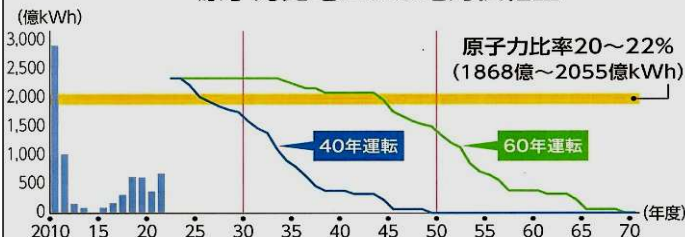
廃棄物処理、事故対策を国に押し付ける

そして、電力会社が新設を躊躇する原因でもある「万が一、事故が起きた時の賠償制度」についても、「事業者負担に上限を設定」し、国が負担することを要求する。

そして、既に14兆円もの税金が再処理工場に投入されており、完成の見込みもないことは無視して、「核燃料サイクル」について国の一層の負担を要求する。

そうすることで原発の「新增設」への投資を促す環境整備を政策として進めることを要求しているのである。

原子力発電による電力供給量



沖縄を再び 戦場(いくさば)にさせない！

多数の参加で集会とデモ！ 沖縄県民大会同時集会 in おおさか

沖縄での県民集会に連帯し同時開催された「沖縄を再びいくさばにさせない！」同時集会は、西梅田公園に500人近い参加者で行なわれた。沖縄集会にあわせて12時からエイサーの演舞で始まり、川口真由美さん、SwingMASAさん、牧志徳さんによる歌と演奏で始まった。

西尾さんから「集会の呼びかけ」が提起された。「今、日本は沖縄戦前と同じように、沖縄を対中戦争の『盾』に使おうと、沖縄の更なる軍事化に走っている。私たちは



川口さんとMASAさん

憲法前文の理念に立ち返り、沖縄から、そして世界中から、軍事占領と植民地主義を根絶させなければならない。世界のどこも戦場にはいけない。そのことを確認し、沖縄を戦場にする大軍拡に走る今の政治を変えることを誓います」。

続いて立憲野党の議員と各政党、市民団体からの発言が行なわれた。

集会に引続いて、大阪梅田までのデモ行進が行われた。阪神タイガースの優勝記念帰りのユニホーム姿の市民も多く、和やかに手を振ってくれる姿もあった。



西尾さん報告



600人でデモ

「沖縄を再び戦場にさせない!」集会が大成功

23日に那覇市の奥武山陸上競技場で、軍備増強に反対し「県民平和大会」が「県民の会」によって開催された。多くの若者も参加して一万人を超える集会となった。

集会には沖縄本島だけでなく、島々からの参加、全国からの参加、そして東京や大阪での同時開催集会など、沖縄を孤立させない形で全国的闘いとして展開された。

集会は12時から音楽コンサートやエイサーで開始された。会場では若者が作った「スイミーパイ」が注目を受けた。

玉城デニー知事が集会に参加し、「皆が主催者となり、若い人の思いが表れている集会となった」「平和が一番です。平和を守りましょう」と挨拶。続いて基調報告、各団体挨拶、行動提起、そして集会宣言が確認された。



1万人を超える参加



スイミーパイ

引続いて開かれた「全国交流集会」では海外3カ国を含む13団体が発言し、お互いの運動の経験を交流した。



玉城デニー知事挨拶

イスラエルの虐殺再開を糾弾する！アメリカはイスラエルへの武器と資金援助を止めろ

カタールとエジプトの仲介で「一時休戦」にハマスとイスラエルが合意し、11月24日から休戦となった。これはパレスチナ人民の勝利であり、世界の運動の成果である。休戦は市民とハマスの要求で2日間延長された。しかしイスラエルは12月1日に休戦延長を拒否し戦争を再開した。このガザへの攻撃で178人が殺された。イスラエルはガザ南部を含め200箇所以上への空爆を行った。イスラエルによるジェノサイドの再開を糾弾する。世界の運動でイスラエルに即時停戦と封鎖解除を要求しよう。

29日に「関西ガザ緊急アクション」は、大阪の米領事館に対し、「アメリカはイスラエル支持を止めろ！イスラエルは虐殺を、空爆を、占領を止めろ！」を掲げて抗議行動を350で行った。パレスチナでは15000人以上が殺され、6500人以上が行方不明である。そして180万人以上の住居を破壊されている。既にジェノサイドが進められている。



領事館前に350人

集会にはガザ現地から、西岸から、そして日本在住のガザ出身者から厳しい現実の報告と闘いの挨拶がおこなわれた。

「休戦でなく停戦を、そしてガザの封鎖解除が不可欠だ」「パレスチナの望むものは自



パレスチナ報告

由に生存することだ」などと。

集会では、停戦の継続と和平交渉の開始を求める米大統領への申入書を全体で確認し提出した。米領事館は受け取りを拒否したので門前に置いた。



申入書を提出

イスラエルは全面的停戦に応じる！
ガザから全面的に撤退し、封鎖を解除せよ！
パレスチナに対するジェノサイドを止めろ！

ガザ大虐殺に加担するイスラエルの「死の商人」と手を切れ！

2023年3月に幕張メッセで開かれた武器見本市の会場でイスラエルの軍需大手「エルビット・システムズ」と日本の軍需商社「日本エアークラフトサプライ」「伊藤忠アビエーション」の契約締結が行われた。この「エルビット」はパレスチナ・ガザでの大虐殺に大量の武器を供給している悪名高い「死の商人」である。日本の軍需商社が、そして自衛隊がイスラエルの軍需商社とイスラエル軍の共犯者になっていることは許されない。

11月24日には武器取引反対ネットワークなどが東京地区の各社に対し抗議と契約の破棄を求めて行動した。



死の商人の斂杯

日中平和友好条約締結45周年記念大阪集会

民間の力が、日中友好の未来をひらく

今夏に開かれた「アジアから問われる日本の戦争」展のアフター企画として、**日中友好条約締結45周年**を記念し、民間の力によって日中の友好とアジアの平和を求める集会在り集会実行委員会によって開かれ、約150人が参加した。反中国勢力の「新疆ウイグルでの人権問題」を現地レポートによって論破する場として、そして友好を深める場となった。

集会は、**梶本大阪府日中友好協会会長**の講演「以民促官」の講演で始まった。平和条約の締結から45年、あらためて平和の重要性を感じるとして、その国家間の条約には民間での協力関係と努力があった

ことを強調された。そして、戦争にはさせない協調関係、経済的な友好と交流、環境問題等での共同が必要である。いま、対立と分断、そして不信が言われる中で、**民間の役割が非常に重要**になってきている。

南京12月証言集会 2023 「虐殺」と「忘却」の国家責任と民衆責任

12月2日に南京大虐殺60周年大阪の主催で、証言集会が行われた。映像を通じて侯占清さんの被害証言と永富浩喜さんの加害証言が行われた。会場には90名を超える参加者が集った。元北陸大教員の



森さん開会挨拶

田村光彰さんの講演「『虐殺』と『暴虐虐』の国家責任と民衆責任」が行なわれた。田村さんは講演の最後のまとめで、「人間の権力に対する闘いは、記憶の忘却に対する闘いである」(ミラン・クンデラ)を強調されたのが極めて印象的であった。



田村さん講演

日本国際貿易促進協会の**泉川友樹さん**から、沖縄の平和外交を中心にして、日本と中国の係わり合いについて話が行なわれた。

大阪城狛犬会の**山崎さん**からは、集会の意義として、日中友好運動の歴史、それに対する米占領軍と日本政府の不当な攻撃、そして日中友好はアジアと世界の平和の基礎であるとの発言。

中国大阪総領事館の方煒副総領事が総領事のメッセージを代読、新疆ツアーの参加者が報告。

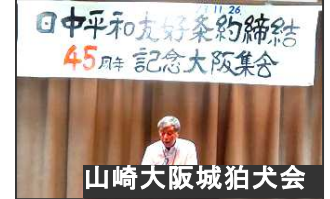
シルクロードローラン歌舞団によるウイグル舞踊と歌曲が上演され、会場も一体となる中で終了した。



梶本日中友好協会



泉川友樹国貿促



山崎大阪城狛犬会



方煒中国副総領事



ウイグル舞踊

ミャンマー国軍のクーデターと民主派人士の殺戮を許すな！

2021年1月の軍部のクーデターにより国軍が政権を握り、多くの議員、政党、市民学生を逮捕・拘禁・殺戮している。その中でも民主派は少数民族武装勢力とも連携を強め、国軍による一方的な暴力支配に反撃している。

国民の支持を得ることの出来ない国軍は軍事的圧迫を強める一方、国内では麻薬汚染の拡大やカジノなどの腐敗、そして強制労働などが進行している。

2023年11月24日には民主派の国民統一政府のジマアウン外相が訪日し、記者会見で、軍との戦闘について少数民族武装勢力とも連携で「成果を上げている」と強調。「民主派組織は、少数民族武装勢力と連携して軍への大規模な攻撃を行い成果を上げている」「農村部での軍の支配は40%以下となり、都市部での支配も失い始めている」と強調した。そして日本政府の対応は「ミャンマーで現在起きていることに合っていない」と批判し、「軍政から逃れようとしている人々への、国際社会からの支援が必要だ」と民主派と市民への支持を求めた。

北部シャン州では民主派部隊と2つの少数民族武装勢力が連合し、国軍を撃破し、州北部の都市の支配権を押さえ、国軍の拠点150箇所を占拠し、国軍兵士の集団的投降も相次いでいる。近接するカヤ州でも同様に民主派の反撃が進んでいる。



大阪府・市は「2025大阪万博」を中止し「夢洲カジノ」を撤回せよ

「大阪関西万博」の建設費が当初予算の1.9倍の2350億円へ増額された。万博協会副会長の吉村知事は当事者なのに協会職員を呼びつけて、他人事のような演技。誰一人増額の責任を取ろうとしない無責任な体制では、これからも予算が増額されることが予想される。

万博の華ともいべき「海外パビリオン」はまだ1棟も建っていない。国内の産業館も建っていない。日建連会長は「限られた期間で建設できる建物の発注を」と言うが、これはプレハブを意味し、万博はますます貧弱になる。

夢洲での万博は、維新が目論む「カジノ」の予定地である夢洲のインフラ整備を税金でさせる目的である。朝日新聞社説でも、「混乱は動機の不純さやあいまいさと無縁ではなからう」「維新の責任は免れない」と批判した。

大阪カジノの環境説明会も、事業者も市も出席せず、関連業者だけで説明。全く違法で無責任な対応である。

大阪府・市政を大阪維新に政治を任すことは出来ない！
大阪関西万博は中止し、「大阪カジノ」も中止しよう！
大阪 IR 株式会社による環境アセスメント説明会は無効だ！



まだ建物の無い会場



説明せずにガードマン

岸田政権の支持率はいよいよ21%に低下 (毎日 11/19)

毎日新聞は、18、19の両日、全国世論調査を実施し、岸田内閣の支持率は21%で最低タイであった。不支持率が70%台は麻生内閣以来の14年ぶり。55%が「早く辞めて欲しい」と答えた。18歳から60歳代までの支持率は1割台であった。いよいよ末期症状である。



全米自動車労組の25%賃上げ！世界に (朝日 11/22)

全米自動車労組は米国自動車大手3社との新しい労働協約を組合員の賛成多数で承認した。4年半で25%の賃上げが実施される。この影響で在米のトヨタが9%、ホンダが11%、現代も28年までに25%など現地従業員の賃金引上げの動きが広がっている。

ソウル高裁 慰安婦裁判で賠償命令 (朝日 11/24)

11月23日ソウル高裁は、日本政府に元慰安婦への賠償金の支払いを命じた。1審の「主権免除」を破棄した逆転判決。日本政府は裁判に参加しておらず、上告せず、この判決が確定する見通しである。全国行動は、政府に判決を受け入れ、謝罪し、賠償することを求めた。

日本では脱炭素に後ろ向きの意見が多数 (朝日 11/24)

英国のシンクタンクが、日本のGX政策と国内での動きのレポートを発表。意見の8割以上が製鉄会社等の企業と業界団体のものであり、水素、アンモニア混焼で化石燃料による発電を延長するなどの、世界の脱炭素削減の目標に合致しない対策が含まれていると報告した。

テルアビブで即時停戦求めデモ (長周新聞 11/24)

イスラエルでは戦争総動員の抑圧を強めている。そのなかで11月18日にテルアビブで反戦デモが行われた。警察に閉鎖された公園に約500人が参加し公園内でのデモを行なった。主催はハダシュ(平和と平等のための民主戦線)。警察は「内乱を引き起こす」として拒否したが公民権協会などの支持も受けて開催された。発言には制約があったが、「唯一の解決策は全ての人に完全な人権と平等を与えることだ」と訴えて行進！

報告 11/24 沖原発いらナイト in 宝塚 128回

128回目の原発いらナイト9人の参加で、110枚のチラシを撒きました。今日は高校生がチラシを良く受け取ってくれました。今回は、12月3日の「反原発一万人集会」の案内と、汚染水の海洋放出反対、そしてガザへの無差別殺戮の即時停止！チラシを配付。

案内 12/16 わだつみ会 不戦のつどい 2023



今年は「学徒出陣」から80年。不戦のつどいでは、「学徒出陣」の歴史的意味を考えるを安川寿之輔元事務局長が。『学徒出陣』80周年声明も発表

日時: 12月16日 18:30~20:30
場所: 東京・全水道会館
ZOOM: gorillaono@gmail.com

案内 12/23 日本の台湾侵略と「台湾有事」



ウクライナーパレスチナー台湾一尖閣 戦争を煽るのは誰だ！

日時: 12月23日 13:30
場所: エルおおさか 709 会議室
参戦と天皇制に反対連続行動

案内 12/24 神戸朝鮮高級学校吹奏楽



宝塚の市民運動が協力して、毎年の年末に宝塚で朝高吹奏楽クラブのコンサートが開かれている。今年は14回目。朝鮮学校を支援し、生徒たちとの友好関係を積み上げていこう。

日時: 12月24日 14:00 ~1
場所: 阪急宝塚ソリオホール
阪急宝塚駅下車、駅前

日本戦没学生記念会機関誌『わだつみのこえ』 No159 (1958年創刊)

発行日: 2023年12月8日 (1000円+税)

【特集「学徒出陣」80周年】

声明: 「戦争準備行為と改憲をやめさせ、「絶対不戦」を守り抜きましょう」
解説: 「わだつみ会声明の立ち位置について」
資料: わだつみ会の歴史関連年表、関連資料

理事会
冠木 克彦

【特集 わだつみ会 8/15 集会】

「アジア侵略の実態と日本の戦争責任」

森 正孝

【各地の平和のための行動】

「関東大震災100年朝鮮人・中国人虐殺追悼の集会の報告」
各地で開かれた戦争展の報告 高槻、藤沢、名古屋
靖国神社への「合祀取り消し要求行動」に参加
「不戦兵士 近藤一さんが教えてくれること」

西端 順子
会員からの報告
岩本 勲
池田 恵理子

【わだつみ会第6回オンライン連続講座】

「わだつみ会は戦争とどう向き合ってきたのか」

那波 泰輔
伊賀 正浩
北口 学
志水 博子
石川 豊子

【投稿】「来年の中学校採択に向けて 採択の民主化を闘いとう」

棄てられた「皇軍」の虐殺とバナバ民族の悲劇

【書評】『ヒロポンと特攻 太平洋戦争の日本軍』(論創社)

『PTSDの日本兵の家族の思いと願い』(あけび書房)



購読ご希望の方は事務局まで連絡ください。送料込みで1000円でお送りします。